

インフルエンザ流行警報の発令について

感染症発生動向調査における相模原市内のインフルエンザ発生の報告数が、第2週(平成31年1月7日から13日まで)に、1定点医療機関当たり35.89人となり、国立感染症研究所が定める「警報レベル」である30人を超えましたので、警報を発令したことをお知らせします。

なお、同週における迅速診断キットの結果はA型99.6%、B型0.2%、不明0.2%と、A型が多く検出されています。

特に、乳幼児や高齢者、基礎疾患のある方などは、感染により重症化するおそれがありますので、「手洗いの習慣化」や「咳エチケットの徹底」による予防を徹底するとともに、感染が疑われる場合には、早めに受診し、周囲に感染を広げないように注意しましょう。

また、今シーズンの小・中学校等における学級閉鎖等の発生は、厚生労働省が定める報告開始日(平成30年9月3日)から平成31年1月16日までの累計で延べ44学級、欠席者405人(裏面参照)となっています。

【感染症発生動向調査について】

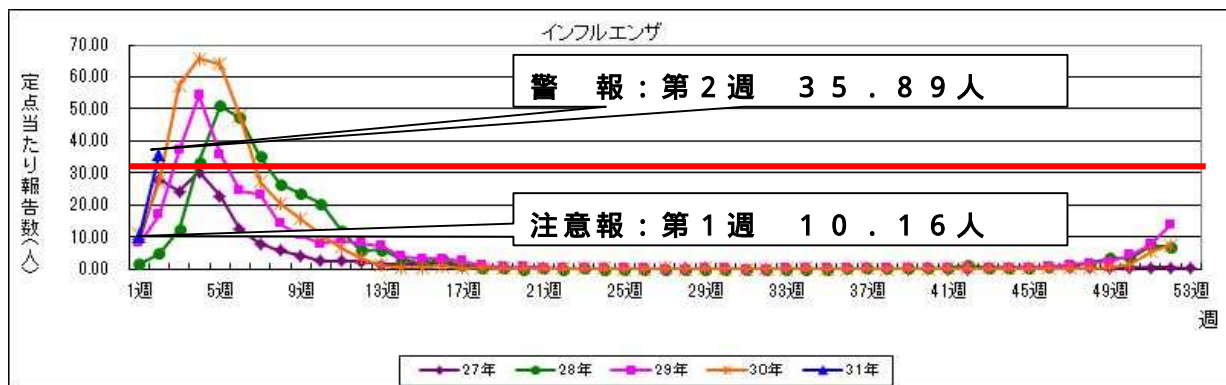
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、定められた医療機関(定点医療機関)における感染症の発生状況を保健所が集計し、国に報告するものです。

本市の場合、インフルエンザについては、39か所の定点医療機関(法定の医療機関が23か所、市医師会の協力等による医療機関が16か所)から報告を受けています。

【最近6週間における1定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数】

期 間	12/3 ~ 12/9	12/10 ~ 12/16	12/17 ~ 12/23	12/24 ~ 12/30	12/31 ~ 1/6	1/7 ~ 1/13
報告数	0.49	1.30	5.16	7.61	10.16	35.89

【本市における近年の傾向】

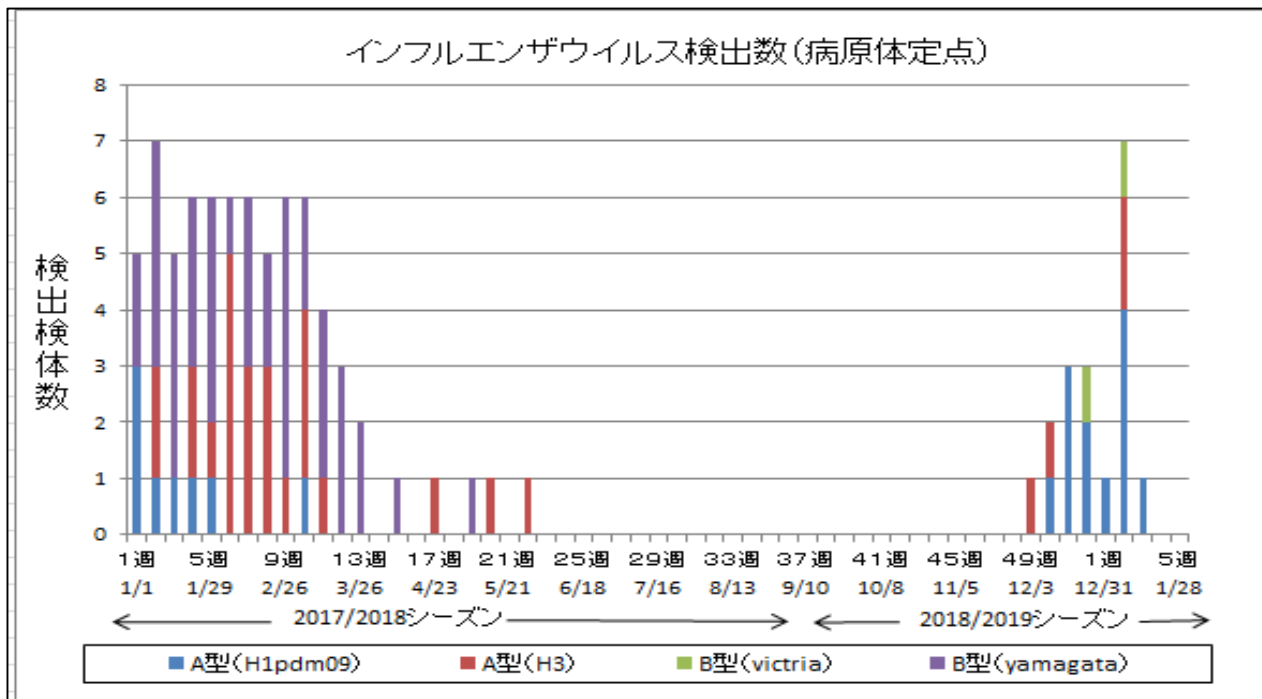


昨シーズンは第3週(平成30年1月15日から21日まで)に「警報レベル」を超えています。

【本市におけるインフルエンザウイルス検出状況】

感染症発生動向調査では、市内5箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただき、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っております。

今シーズンの検体提供数は21件であり、そのうち18検体からインフルエンザウイルスが検出され、その内訳はA H1p d m 0 9亜型が12件、A H 3亜型が4件、B型ビクトリア系統が2件となっております。なお、検出状況は、平成31年1月16日検査結果判明分までとなっております。



【平成30年9月3日～平成31年1月16日までの学級閉鎖の状況】

区分	幼稚園	小学校	中学校	高校・その他	計
学級閉鎖数	0	35	9	0	44
欠席者数(人)	0	315	90	0	405

学級閉鎖数及び欠席者数は疾病対策課集計の件数になります。

【インフルエンザの予防について】

インフルエンザは、空気中に拡散されたウイルスによって感染しますので、人ごみや繁華街への外出を控えましょう。

帰宅時には流水・石けんでこまめに手洗いをしましょう。

日頃から十分な栄養や休養をとりましょう。

室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。

【咳エチケットとは】

咳・くしゃみをする時は、ティッシュで口と鼻を覆いましょう。

使用したティッシュはゴミ箱に捨て、その後はよく手を洗いましょう。

咳・くしゃみの症状がある方はマスクを着用しましょう。

問い合わせ先

疾病対策課 感染症対策班
 担当：吉田・貴家(さすが)
 電話：042-769-8260(直通)
 (ウイルス検出状況について)
 衛生研究所 微生物班
 担当：播磨・金沢
 電話：042-769-8348(直通)